

TRIO SOLLA (トリオ・ソラ)

PIANO

谷川かつら

VIOLIN

瀬川祥子

CELLO

水谷川優子

TRIO SOLLA

トリオ
ソラ

BERLIN NEW YORK PARIS

～三都物語 Vol.2～

チャイコフスキー：「ノクターン」

～ピアノ協奏曲 第2番 第2楽章より～ C. ベンティエ編曲【日本初演】

Pyotr Ilyich Tchaikovsky: "Nocturne" (pour piano, violon et violoncelle)

transcription: Jean-Claude Pennerier

ショーソン：ピアノ三重奏曲 ト短調 Op. 3

Ernest Chausson: Piano Trio in G minor Op. 3

ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 第7番 変ロ長調 Op. 97 「大公」

Ludwig van Beethoven: Piano Trio in B-flat major Op. 97 "Archduke"

11月

2014年

21日

(Fri)

開演：午後7時 (開場：午後6時30分)

全席指定

S席 5,000円 A席&学生 4,000円

(消費税込)

《チケット》 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990
(口・混雑時/10:00-18:00)

東京文化会館チケットサービス 03-5635-0650

CNプレイガイド 0570-03-9990

イープラス <http://eplus.jp> 0570-06-9911

ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

浜離宮朝日ホール



アクセス

築地市場駅(都営大江戸線)下車A2出口すぐ

築地駅(日比谷線)より徒歩約3分

東銀座駅(日比谷線/都営浅草線)より徒歩約8分

汐留駅(都営大江戸線/新交通ゆりかもめ)より徒歩約10分

新橋駅(山手線/東京メトロ銀座線/都営浅草線)より徒歩約15分

《主催》 朝日新聞社・ミリオンコンサート協会

「才色兼備の閨秀演奏家による
ピアノ三重奏団＜トリオ・ソラ＞が旗揚げ」
と楽界の注目を集め、
「名手3人のノリいい名演はまた格別」、
「素晴らしく練れた名演」と専門誌で絶賛された
谷川かつら、瀬川祥子、水谷川優子の3人が、
再び本拠とする欧米から来日する。
「三都物語」の再現である。

披露するプログラムにはショーソンの秘曲と
楽聖ベートーヴェンの「大公」などが載る。
晩秋の浜離宮朝日ホールに、
また楽しみが増えた。

音楽プロデューサー
中野 雄

トリオ・ソラ
TRIO SOLLA

Sollaはフランス語でのドレミの“ソ”と“ラ”、
三人の名のイニシャルがSKY(スカイ=空)
「三都離れていても大空はつながっている」と
音楽の拡がりへの願いもこめて命名いたしました。

PROFILE

谷川かつら (ピアノ) Katsura Tanikawa, Piano

国内外 20 以上のピアノコンクールで優勝。これまで、モスクワ国立交響楽団、新ミレニウム祝祭オーケストラ (スペイン)、フランクフルト国立管弦楽団等多数のオーケストラと海外公演を行ったほか、2011 年 4 月には、シカゴのデーム・マイラ・ヘス・コンサートシリーズのピアノ・ソリストとして招かれるなど、その高い音楽性と豊かな表現力は注目を集めている。同時に、優れた室内楽奏者としても知られており、イツァーク・パールマン室内管弦楽団、チェコフィル八重奏団、ウィーン・ウィンド・アンサンブルと共演した。特に、2011 年 1 月には、ウィーンでの室内楽コンサートにクインテットのピアノ奏者として招聘され絶賛を浴びた。CD 録音としては、「ベートーヴェン・Complete Works for Cello and Piano」(’05 年、レコード芸術推薦盤)。「谷川かつらリストを弾く」(’08 年)、「Portrait From Vienna」(’09 年) を、リリースしている。

谷川かつらは、ヨヘド・カプリンスキー教授師事のもと、ジュリアード音楽院ピアノ科を卒業。その後米国コロンビア大学で美術史の学位とエール大学音楽学部大学院でボリス・バーマン教授師事の下、音楽学修士の学位を取得している。



瀬川祥子 (ヴァイオリン) Sachiko Segawa, Violin

4 歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科を首席で卒業後、同大学ディプロマコース入学。その後モスクワ音楽院、パリ国立高等音楽院第三課程他で学ぶ。ベルリン芸術大学大学院を卒業し、国家演奏家資格を取得。第 32 回全日本学生音楽コンクール小学校の部全国第 1 位。第 332 回日本国際音楽コンクール奨励賞受賞。イタリア・ヴィオッティ国際音楽コンクール最高位受賞。鷲見三郎、小林健次、江藤俊哉、ヴァレリー・クリモフ、ヴィクトル・トレチャコフ、レジス・バスキエ、トーマス・ブランディスの各氏に師事。

これまでにモスクワ・フィル、モスクワ交響楽団、ジョルジュ・デュマ交響楽団 (ルーマニア)、メキシコ州立管弦楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、東京ニューシティフィル等と共演。また、ヤング・ブラハ、ポルトガル音楽祭、カラス音楽祭、東京の夏音楽祭、ベイニャック音楽の夕べなどに招かれる。ドイツ・ラジオ・ラジオ・スイス・ロマン、NHK・FM「名曲リサイタル」などにも出演。日本、インド、ロシア、欧州各地などでリサイタル等のソロ活動の他、室内楽奏者としても活躍中。最近ではフォルテ・ピアノとのデュオ、トリオなど活動の巾を広げている。アンサンブル・ナフェアのメンバー。

イザイ無伴奏ソナタ全曲(フォンテック)、モーツァルトのヴァイオリン・ソナタ (integral classic) 等の CD がリリースされている。



水谷川優子 (チェロ) Yuko Miyagawa, Violincello

桐朋学園女子高等学校音楽科卒業、同大学ディプロマコースを経て、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院首席卒業、同大学院修士修了マギスターの称号を得る。ローマのサンタ・チェチーリア国立アカデミーのソリストコースにて研鑽を積みながらザルツブルク室内管弦楽団首席奏者、ザルツブルク・ゾリステンのメンバーとして演奏活動を開始。第 6 回東京国際室内楽コンクール優勝、併せて齋藤秀雄賞とアサヒビール賞、イタリア・カラブリア芸術祭コンクール優勝、ピネローロ国際室内楽コンクール2位、バロックザール賞ほか多数受賞。CD 録音多数、最新のソロアルバム「CON ANIMA ～魂をそえて」は『レコード芸術』誌で準特選盤、優秀録に選出された。その演奏は「勇気づけ、包んでくれるような暖かい音色」(東京新聞)「心をノックするチェロ」(毎日新聞)などと評価されている。ソロに加え「Ensemble Φ(ファイ)」や「スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウ」などのメンバーとしても活動、また能管や尺八など邦楽のアーティストたちとのコラボレーションにも積極的に、そのユニークで多彩な活躍ぶりが注目されてテレビやラジオへの出演も多い。コンサートの傍らで少年院、ホスピスなど各種施設への訪問演奏を行っており財団法人俱進会より10年間の助成を受けた。現在は日本とドイツに拠点を置き、ヨーロッパ各地の音楽祭をはじめ、エジプトやアゼルバイジャンなどからもソリスト、室内楽奏者として招聘を受けて各国で高い評価を獲得している。

